



伝統技術で上棟
新たな門出の節目を迎えて



刻み材を組み上げ
上棟へ

永代供養堂地蔵堂建立・山門新築 建て方及び上棟式

令和八年五月二十七日、静岡県浜松市の道林寺様（臨濟宗妙心寺派・泉住職）において、永代供養堂地蔵堂建立および山門の上棟式が執り行われました。

現在、境内では永代供養堂地蔵堂建立工事と山門新築工事が並行して進められております。永代供養堂地蔵堂に続き、山門も順調に工事が進み、このたび上棟を迎えました。

二日間にわたる山門の建て方工事では、事前に刻みを終えた部材を一本ずつ丁寧に組み上げ、天峰大工の連携により段取り良く作業が進みました。安全に配慮しながら工程を進め、無事に屋根下地まで施工を完了いたしました。上棟式は本堂にて執り行われ、ご住職をはじめご参列の皆様にご焼香いただき、永代供養堂地蔵堂ならびに山門工事の無事を祝い、完成までの工事安穏を祈念いたしました。

山門は寺院の顔ともいえる大切な建物です。永代供養堂地蔵堂とともに、これから長く寺院を支える建物となるよう、丁寧に見極めながら工事を進めてまいります。

完成まで引き続き安全第一で工事を進めてまいります。工事期間中はご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。